

平成 26 年 6 月 27 日

各 位

本店所在地 東京都港区西新橋一丁目 1 番 15 号  
会 社 名 株 式 会 社 ア ジ ェ ッ ト  
(コード番号：7853 東証マザーズ)  
(URL <http://www.agetj.com/>)  
代 表 者 代表取締役社長 早間 央  
問 合 せ 先 取締役 小 椋 量 友 紀  
電 話 番 号 0 3 - 4 5 7 7 - 8 7 0 1

## 株式会社ダイヤモンドの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 6 月 27 日開催の取締役会において、以下の通り、株式会社ダイヤモンドの株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式取得の理由

当社では、本日付「資金の借入に関するお知らせ」でお知らせさせて頂いた通り、本日付で実施した合同会社アイランドインベストメント(以下「I I 社」という。)から借り入れた資金 130,000 千円の一部を充当し、銀座のイタリア料理ダイニング「m a r r a k e c h ～マラケッシュ～」を運営する株式会社ダイヤモンド(所在地：東京都中央区銀座 代表取締役：西 尚弓)の全株式を取得し、当社の連結子会社といたします。

また株式取得後、同社の株主割当増資を全数引き受ける事で経営基盤の強化を図ります。尚、必要資金としては、株式取得代金 1,000 千円と、株主割当増資の払込資金 90,000 千円の合計 91,000 千円となります。

当社では、主力事業である株式会社デザート・ラボのソフトクリーム事業について、直営店及びFC店舗の拡大を図る事を模索するため、社内外の人脈を通じて案件情報の収集に努めておりました。そんな中、当社の筆頭株主である加賀美郷氏の代理人の第一法律事務所(東京都中央区)を介して紹介を受けた I I 社から、株式会社ダイヤモンドを紹介されました。

株式会社ダイヤモンドは、現在 1 店舗の運営のみですが、取引先や顧客からの紹介で以前より新規出店や他の飲食業態の運営を検討しておりました。ただし、現在の企業規模や人員体制では多店舗化は難しく、実現はしておりませんでした。そこで、株式会社ダイヤモンドとしては、上場企業のグループ子会社になることで、信用力、資金調達力を生かして事業拡大が可能と判断し、また当社では、西社長の人脈を使って、既存事業であるソフトクリームショップの運営に止まらず、他の飲食業態での新規出店も含めて検討し、多店舗化を加速したいと考え、先方と協議を重ねてまいりました。具体的には、西社長の紹介で、兵庫県芦屋市と静岡県富士市の店舗物件に関して交渉を始めており、富裕層向けのレストランおよび、パーティーイベントなどを実施できるような郊外型の店舗の新規出店を計画しております。

また、当社グループは当第2四半期累計期間（平成25年10月～平成26年3月）において、売上高が20,000千円であり、東京証券取引所の上場廃止基準（マザーズ）である「売上高が最近一年間に終了する事業年度において1億円に満たないこととなった場合（売上高とは連結損益計算書に記載される売上高をいう）」に抵触しないために、下半期において主力事業である株式会社デザート・ラボの新規出店を実施すべく物件情報の取得を進めてまいりましたが、具体的な交渉まで至っておりません。

株式会社ダイヤモンドの西社長は20年以上銀座で飲食事業に従事しており、顧客や取引先との多数の人脈を有しておられます。仕入先の信用度も高く、例えば入手困難なワインの調達を行い、現在の店舗の付加価値向上に寄与しています。また、店舗の売上においてもその人脈から高い集客力をもっています。新規出店に関する物件情報なども、西氏の人脈により早期に有利な条件で集まってきております。

当社としては、今回の株式会社ダイヤモンドの買収によって、買収後の連結売上高の底上げを図る事で、株式会社ダイヤモンドを子会社化することで、新規出店により事業を促進させることが可能との判断から、100%の株式を取得し当社子会社とすることについて双方合意致しました。

尚、西社長には引き続き、株式会社ダイヤモンドの代表取締役に残って頂き、経営をお願いすることを了解頂いており、株式譲渡契約書に平成27年9月30日迄は代表取締役にとどまる旨を定めております。

当該子会社化のための資金の借入の概要は以下の通りです。

#### <借入の概要>

- |           |   |  |
|-----------|---|--|
| (1) 借入先   | : | 合同会社アイランドインベストメント<br>合同会社アイランドインベストメントは、本件借入資金に関して株式会社アイランド（所在地：福岡県福岡市 代表取締役：亀頭隆行）より全額借入をしております。 |
| (2) 借入金額  | : | 130,000千円  |
| (3) 借入実施日 | : | 平成26年6月27日   |
| (4) 返済期日  | : | 平成30年6月29日   |
| (5) 金利    | : | 3.0%/年   |
| (6) 担保状況  | : | 今回取得予定の株式会社ダイヤモンドの全株式を担保設定しております。  |

尚、同社の取得価格は第三者機関である株式会社エイゾン・パートナーズ（所在地：東京都港区 代表 土居明史）に依頼し企業価値算定を行いました。その結果、株主価値としては「0円～5,100千円」となりました。株主側と価格等に関する交渉を行った結果、株式譲渡価額1,000千円で取得する事とし、その上で、株式会社ダイヤモンドの財務体質の強化を図るため、株主割当増資90,000千円を当社が引き受け、西尚弓氏に対する債務約90,000千円の返済に充当致します。

なお、株式会社エイゾン・パートナーズに依頼した企業価値算定において、株式会社ダイヤモンドのDCF法による事業価値としては、99,899千円との結果となっております。

## 2. 異動する子会社（株式会社ダイヤモンド）の概要

(1) 名称	株式会社ダイヤモンド			
(2) 所在地	東京都中央区築地1丁目9番13号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 西 尚弓			
(4) 事業内容	レストラン等の飲食店経営、飲食店向けコンサルティング			
(5) 資本金	100万円			
(6) 設立年月日	平成23年2月3日			
(7) 大株主及び持ち株比率	西 尚弓 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	平成24年1月期	平成25年1月期	平成26年1月期
純 資 産		1,076	1,258	-10,693
総 資 産		53,163	63,689	95,886
1株当たり純資産		53,792.15	62,881.05	—
売 上 高		24,039	136,337	163,087
営 業 利 益		230	427	-12,349
経 常 利 益		237	427	-11,880
当 期 純 利 益		76	182	-11,880
1株当たり当期純利益		—	—	—
1株当たり配当金		—	—	—

(単位：千円)

注) 財務デューデリジェンスの結果、売掛金 57,291 千円のうち回収可能性を勘案し 15,125 千円の貸倒引当金の計上、および短期借入金の利息額が未計上のため、当期分 2,142 千円、過年度分 1,596 千円の合計 3,738 千円を未払費用として計上をする予定です。これらの修正の結果、純資産額は△29,555 千円、総資産は 80,762 千円、営業利益は△27,474 千円、経常利益は△29,147 千円、当期純利益は△30,743 千円となる見込みです。平成 26 年 1 月期における赤字は、人件費の増加、低価格メニューを企画したことによる利益率の低下が主な要因です。ただし、直近は仕入価格の調整、集客力の向上、オペレーションコストの見直し等で改善傾向にあります。

## 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	西 尚弓
(2) 所在地	東京都荒川区
(3) 職業の内容	会社経営
(4) 上場会社と当該個人との間の関係	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)
(2) 取得株式数	20株 (議決権の数：20個)
(3) 取得価格	50,000円
(4) 異動後の所有株式数	20株 (議決権の数：20個) (議決権所有割合：100%)
(5) 株主割当増資実施後の所有株式数	1,820株 (議決権の数：1,820個) (議決権所有割合：100%)

注) (5)は、株式会社ダイヤモンドの株主割当増資を実施した後の所有株式数になります。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成26年6月27日
(2) 契約締結日	平成26年6月27日
(3) 株式譲渡実行日	平成26年7月1日(予定)

尚、株式会社ダイヤモンドの株主割当増資の日程は以下の通りです。

(1) 取締役決定日	平成26年6月30日(予定)
(3) 臨時株主総会	平成26年6月30日(予定)
(2) 払込期日	平成26年7月1日(予定)

6. 今後の見通し

本件株式取得における業績への具体的な影響につきましては、現在精査中であります。

その影響が明らかになり次第、直ちにお知らせいたします。

尚、株式会社ダイヤモンドは今期の第4四半期(平成26年7月1日～平成26年9月30日)から連結対象子会社になる予定です。

以上